

第51回全国高等学校総合文化祭石川大会 大会テーマ応募票

大会基本方針

加賀友禅や九谷焼、輪島塗などに象徴される華やかさと、自然豊かな土地に根付いたあたたかさが調和する地、石川。個性豊かな全国の高校生がここに集い、手を取り合って「文化の祭典」を開催します。

先輩たちが育んできた、目標に向かって努力する心と表現することの喜びを受け継ぎ、一人ひとりが輝く全国高等学校総合文化祭を目指します。

《彩る》

石川の伝統工芸品の多くには金箔や五彩が施されています。その彩りが数々の人を魅了してきたように、参加者一人ひとりの多彩な個性が輝く大会を作ります。

《もてなす》

奥能登には「あえのこと」という、田の神様に1年の収穫を感謝しおもてなしする伝統行事があります。私たちも昔から大切にされてきた「ありがとう」の思いを持って大会を作ります。

《結ぶ》

霊峰白山から流れる手取川、その名前の由来が、多くの人々が手を取り合って急流を渡ったことにあるように、参加者全員が絆を結び高め合える大会を作ります。

「大会基本方針」は令和5年度、18名の県内高校生から組織された「生徒準備委員会」が提案しました。

応募作品①	大会テーマ（特別な読み方をする場合は、漢字にふりがなをつけてください。）（*20字以内）
	テーマについてのコメント（どのような意味を込めたのかなど）
応募作品②	大会テーマ（特別な読み方をする場合は、漢字にふりがなをつけてください。）（*20字以内）
	テーマについてのコメント（どのような意味を込めたのかなど）

募集要項を確認、了承のうえ応募します。

ふりがな	
氏名	
学校名	
学年	[] 年

【参考】他都県の大会テーマ

2026年(R8)	秋田県	「輝く稲穂に廻らす想い おがれ若人 美の国秋田に今集え」
2025年(R7)	香川県	「讃岐に咲くは 才の花たち」
2024年(R6)	岐阜県	「集え青き春 漕ぎ出せ知の筏 水面煌めく 清流の国へ」
2023年(R5)	鹿児島県	「47の結晶 桜島の気噴にのせ 紬げ文化の1ページ」
2022年(R4)	東京都	「江戸の街 光織りなす文化の花」